

# いわき市沿岸の磯根漁場における震災後の瓦礫等の状況

福島県水産試験場 栽培漁業部

## 1 部門名

19-05-09、11

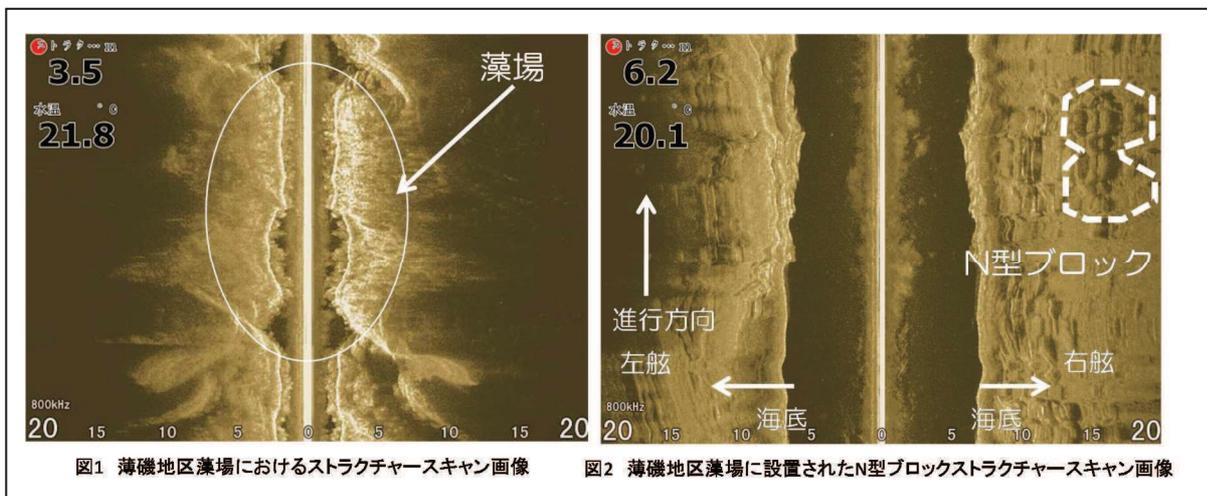
## 2 担当者

平川直人・和田敏裕・松本育夫

## 3 要旨

東日本大震災により、いわき市沿岸部は大きな被害を受け、津波により運ばれた瓦礫の海底堆積や海底地形の変化が懸念された。そこで本研究は、いわき市沿岸の磯根漁場（沼之内、薄磯、下神白）において、音響測器「ストラクチャー・スキャン」を用いて海底地形や瓦礫の堆積状況の把握等を行い、東日本大震災による津波が磯根漁場に与えた物理的影響を評価することを目的とした。

- (1) 深刻な津波被害を受けた沼之内地先と薄磯地先では、漁場への瓦礫の流出が懸念されたが、磯根漁場や周辺砂浜域で瓦礫堆積は非常に少なかった(図1)。
- (2) 下神白地先も同様に磯根漁場海底での瓦礫の堆積は確認されなかった。
- (3) 海底に設置されたN型ブロック等人工構造物等は震災以前と同様の位置で確認され、磯根漁場における津波の物理的影響は少ないものと考えられた(図2)。



## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度
- (2) 研究課題名 漁場環境保全技術に関する研究(磯根漁場における東日本大震災による被災状況調査)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度東北ブロック水産業関係研究開発推進会議報告書(印刷中)